

平成 14 年度 RASC 電波科学計算機実験(KDK) シンポジウム プログラム

日時： 平成 15 年 3 月 19 日、20 日

場所： 京都大学 宙空電波科学研究センター・1 階会議室 (19 日)
木質ホール(20 日、ポスターセッション)

主催： 京都大学宙空電波科学研究センター・
電波科学計算機実験専門委員会

共催： SGEPSS 分科会プラズマ粒子シミュレーション研究会

3 月 19 日

13:30-13:35 はじめに

臼井 英之 (京大 RASC)

13:35-14:35 招待講演：「開放系粒子シミュレーション手法の開発」

高丸 尚教 (核融合科学研究所)

休憩 10 分

座長：岡田雅樹

14:45-15:05 シールド衣料による電磁波遮蔽効果の FDTD 解析

吉村慶之(1,2)、長野勇(1)、八木谷聡(1)、中藪俊博(2) (1)金沢大学大学院自然科学研究科、(2)石川県工業試験場

15:05-15:25 Observational evidence for the distortion model of the region 1 current generation

山本 隆 (東大理)

15:25-15:45 分散性電磁パルスによる粒子加速

飽本 一裕 (帝京大学理工学部)

15:45-16:45 招待講演：「NASDA の衛星帯電研究 -NASCAP と宇宙環境計測-」

中村 雅夫 (宇宙開発事業団)

17:00- KDK 専門委員会 (2 階中会議室)

3 月 20 日

ポスターセッション(10:00-12:00、ポスターは9時半ごろから準備できます。)

※ 以下の番号はポスターボードの番号に相当しますので、ご注意ください。

※ ポスターボードの大きさは 120cm(横) × 180cm(高さ) です。

- (1) 大気重力波の対流圏での励起と中間圏界面領域での砕波の数値実験
堀之内武(京大 RASC)
- (2) 熱帯上部対流圏の水平発散地域分布
西憲敬(京大・理)
- (3) MRI-NHM を用いたメソスケール擾乱の再現実験
手柴充博、橋口浩之、深尾昌一郎(京大 RASC)、柴垣佳明(大阪電通大)、加藤輝之(気象研究所)
- (4) 3次元化学輸送モデルを用いた対流圏硫黄循環の研究
新添多聞、木田秀次
- (5) 中緯度沿磁力線イレギュラリティの生成に関する計算機シミュレーション
横山 竜宏、山本衛、深尾昌一郎(京大 RASC)
- (6) 大規模電気推進エンジンの重イオンビームと磁気圏プラズマとの相互作用の計算機実験
榊間俊洋、大村善治、小嶋浩嗣、松本紘(京大 RASC)
- (7) Solar wind control of the dynamic evolution of the Venus ionotail
寺田直樹(名大 STE 研)、品川裕之(名大 STE 研)、町田忍(京大・理)
- (8) 電磁波との共鳴による電子加速についての計算機シミュレーション
加藤雄人、小野高幸(東北大・理)
- (9) 衝撃波での電子の運動
杉山徹、松本紘(京大 RASC)
- (10) バウショック下流における準正弦静電波動
新浩一、小嶋浩嗣、松本紘(京大 RASC)、向井利典(宇宙科学研究所)
- (11) Buneman 不安定性の非線形発展
二宮啓輔、大村善治(京大 RASC)

- (12) マグネトロンに関する計算機実験
日比野勉、大橋聡史、臼井英之、松本紘（京大 RASC）
- (13) 弱電離プラズマを用いたMHD発電機の3次元解析
石川本雄（筑波大）
- (14) 磁気ループの3次元 MHD シミュレーションと衝撃波の3次元的可視化
近藤光志（愛媛大・工）
- (15) リコネクションジェットの内側に発生する多重衝撃波
田沼俊一（京大・理）
- (16) 可視化ツール(Project1)の開発と磁気再結合の3次元 MHD シミュレーション
小川直輝（愛媛大・理）
- (17) 磁気圏近尾部無衝突プラズマ中に於けるバルーニング不安定性の流体的記述の妥当性
三浦彰（東大・理）
- (18) Electron Inertia Effects on an MHD-Scale Kelvin-Helmholtz Vortex
中村琢磨（東工大・理）
- (19) Instability at the leading edge of a reconnection jet
丹所良二（東工大・理）
- (20) シア磁場を考慮したプラズモイドの3次元 MHD シミュレーションと可視化
藤井恵（愛媛大・理）
- (21) 高速磁気再結合過程で発生するプラズモイドに関する MHD 波動解析
清水徹（愛媛大・工）
- (22) ブラゾフコードによるラングミュア高調波の計算機実験
梅田隆行、大村 善治、松本 紘（京大 RASC）、
P.H.Yoon（Institute for Physical Science and Technology, University of Maryland）,
- (23) GRID によるマルチスケールプラズマ粒子シミュレーションシステムの試験実装
村田健史（愛媛大・工）
- (24) 三次元計算機実験による宇宙機帯電に関する研究

田島勇人、臼井英之、松本紘、大村善治（京大 RASC）

(25) 3次元非構造格子電磁粒子コードによる宇宙飛翔体環境の研究

岡田雅樹（極地研）

(26) Lower Hybrid Waves Observed at the Dayside Polar Region: SS-520-2 Rocket Experiment

上田義勝、小嶋浩嗣、松本紘、橋本弘藏（京大 RASC）、

長野勇（金沢大・工）、岡田敏美（富山大・工）、向井利典（宇宙研）

(27) SS-520-2ロケットによって観測された極域におけるDC電場及び光電子パルスに関する研究

三宅壮聡、岡田敏美、知野明裕（富山大）、山岸久雄（極地研）

(28) プラズマ波動によるプラズマ温度推定の研究

小嶋浩嗣、甲斐島 元（京大 RASC）

(29) プラズマ中の電界アンテナ特性に関する計算機実験

中村宣之、臼井英之、小嶋浩嗣、松本紘（京大 RASC）

(30) 磁気圏中の誘導電場による電子ビーム生成機構

松永政孝、大村善治、梅田隆行（京大 RASC）

- 口頭発表には液晶プロジェクター、OHPがご利用できます。その他の機器が必要な場合は事前にご連絡ください。
- ポスターセッションは木質ホール3階で行います。

13:00 地球シミュレータ利用打ち合わせ会